

授業科目 社会福祉学研究特論Ⅱ (制度・政策研究)	科目概要・形式 2単位30時間(15コマ) 講義科目	配当年次 博士前期1年次 前期開講	オンライン参加 <input checked="" type="checkbox"/> ・不可 (下記7も参照)
科目責任者	工藤 英明		
担当者	工藤 英明、高阪 悌雄		
1. 科目のねらい・目標 ・国や自治体が保有している社会福祉に関する情報・データを用いた社会福祉政策・制度の評価手法の基礎を学習する。社会福祉政策や制度の評価手法を学ぶことを通して、制度・政策研究に必要な研究手法及び制度・政策研究の基礎を学ぶ。 ・ディスカッション等を通して社会福祉各領域における政策課題についての検討をおこなう。 ・受講生が提示した制度・政策課題等について、随時、議論する。			
2. 授業計画・内容 第1回目 日本の社会福祉政策について総論 (社会福祉政策研究方法) (1) 工藤 第2回目 日本の社会福祉政策について総論 (社会福祉政策研究方法) (2) 工藤 第3回目 日本の社会福祉政策について総論 (社会福祉政策研究方法) (3) 高阪 第4回目 障害福祉政策 (自治体・国・国際) (1) 高阪 第5回目 障害福祉政策 (自治体・国・国際) (2) 高阪 第6回目 障害福祉政策 (自治体・国・国際) (3) 高阪 第7回目 その他福祉政策 (自治体・国・国際) (1) 高阪 第8回目 その他福祉政策 (自治体・国・国際) (2) 高阪 第9回目 その他福祉政策 (自治体・国・国際) (2) 高阪 第10回目 高齢者福祉政策 (自治体・国・国際) (1) 工藤 第11回目 高齢者福祉政策 (自治体・国・国際) (2) 工藤 第12回目 高齢者福祉政策 (自治体・国・国際) (3) 工藤 第13回目 その他福祉政策 (自治体・国・国際) (1) 工藤 第14回目 その他福祉政策 (自治体・国・国際) (2) 工藤 第15回目 まとめ 工藤・高阪			
3. 教科書・参考書 工藤担当授業は授業開講時に参考書等を紹介する。 高阪の担当授業においては以下のテキストを使用 高阪悌雄 (2020) 『障害基礎年金と当事者運動』 明石書店			
4. 成績評価方法 レポート70% 出席状況30% により評価する			
5. 受講要件 なし			
6. 社会人学生に対する配慮 土日・夜間開講科目			
7. その他 受講生の関心のあるテーマをとりあげていきたい。 オンライン開講可、事前に連絡すること。 調整はしますが、授業は教員ごとに行いますので留意願います。			